

## 知事との県民対話集会（池田町）概要

- ・開催日時 令和4年11月25日（金） 午後3時30分から午後5時まで
- ・会場 池田町役場 大会議室
- ・参加者 県民18名、甕池田町長、阿部知事、早川北アルプス地域振興局長
- ・テーマ 地域で始める持続可能な社会づくりについて

### ・主な発言（要旨）

#### 【参加者】

・長野県内自治体の行政力・実行力が落ちている。例えば、子どもの学力低下や現役高校生の大学進学率の低迷、大北森林組合の補助金問題における行政の不始末、日本で一番ガソリン価格が高いことなど。行政の姿勢に問題があるのでは。

#### 【知事】

・教育委員会とは教育再編等の議論を行っている。経済界や県民からも教育に関してどんどん意見を言ってほしい。  
・大北森林組合の件は率直にお詫びする。行政として問題等が起きたときは真摯に反省し、県民の理解が得られるよう努力していかなければならない。  
・ガソリン価格について県は関与できないが、地域のガソリンスタンドの存続については、県もしっかり考えていく。  
・県では中堅層職員の不足や職員の多忙感によりミスが増えている。県民の信頼が得られ、職員もやりがいを持って仕事ができる組織づくりに努めたい。

#### 【参加者】

・認知症による行方不明者の捜索にも使える赤外線サーモ機能の付いたドローンを広域単位で購入してはいかがか。

#### 【知事】

・趣旨は分かった。サーモ機能付きドローンの現状については確認してみる。

#### 【参加者】

・大糸線の存続に向け、上下分離の検討やJR東日本と西日本の連携など、国とJRに対し強く要望していただきたい。

#### 【知事】

・地方鉄道の維持・存続は重要と考えている。交通政策局を設置し、しっかりと対応していきたい。

#### 【参加者】

・減農薬や電動ラジコン機械による環境保全型農業によりブドウ栽培に取り組んでいるが、環境面と経営面の持続可能な両立に向けて、サポートをお願いしたい。

#### 【知事】

・技術的なサポートは県でもしっかり行っていくとともに、課題を共有しながら一緒に取り組んでいく。

#### 【参加者】

・不登校や自死する子どもの数が多く、学校の在り方が問われている。現状を打破し、子どもが行きたい学校にするためにはどうすればよいか。

#### 【知事】

・不登校を考える会の方との懇談を実施しているが、一部の方だけでなく、公開で議論する場を作りたい。  
・自殺対策は県としても力を入れているが、どうして自死を考える子どもが多いのかを突き詰めなければならぬ。

**【参加者】**

- ①詰め込み式の教育ではなく、子ども主体の授業や非認知能力を伸ばす教育を進めてほしい。
- ②オーガニック食品等の食育を推進してほしい。

**【知事】**

- ①発言の内容は全く同感であるし、同じ思いの県民は数多くいると思う。保護者や地域から自分達の学校に対する意見をもっと上げてほしい。そのための場は考えるようにする。
- ②食育は重要。学校給食での有機農産物の利用を県として応援できないか考えている。

**【参加者】**

- ・インクルーシブ教育を実施すると、現在の35人学級から人数が増え、40人程度になってしまう。30人学級を進める必要があるのではないか。

**【知事】**

- ・インクルーシブ教育に係る教員の加配について、県で配置している教員は必要があれば対応していかなくてはならない。実情を把握する。
- ・県全体の教員数のあり方については、充実できる方向で考えたい。

**【参加者】**

- ・松本糸魚川連絡道路のルートに係る県の説明が不十分であるので、不安に感じている住民が多い。改善できるところを改善してほしい。

**【知事】**

- ・松本糸魚川連絡道路は地域にとって重要なものであり、できるだけ早期に促進していきたいが、地域へ丁寧な説明をし、協力を得ることが重要。県の対応を改善できるよう考えたい。

**【参加者】**

- ・コロナにより他県との往来を控えるような閉鎖的な対応がとられたことが残念だった。

**【知事】**

- ・致死率等の状況の変化により、現在はそういった対応をとっていない。引き続き、一人一人が感染対策を徹底してほしい。